

マイナ保険証利活用に係る取り組み

一般社団法人 日本保険薬局協会
医療制度検討委員会

2024年8月

調査概要

- 目的：マイナ保険証利活用に係る取り組み状況の把握
- 内容：全6問
- 対象：医療制度検討委員会及びデジタル推進委員会の委員会社もしくは常任理事会社の保険調剤業務を取り扱う薬局のうち、1割の回答率を目標とした。
- 方法：オンラインWEB調査 1薬局1回答
- 回答期間：2024年6月24日～2024年7月5日
- 回答数：18社、1,691薬局（回答率22%）
- 実施主体：一般社団法人日本保険薬局協会 医療制度検討委員会
- 倫理審査：日本薬局学会倫理審査委員会 受付番号24011

調査結果 Summary

患者に対してマイナンバーカードの持参確認や受付での利用の声かけを行っている割合が高いほど、マイナ保険証受付割合は高い傾向が見られ、受付での声かけ以外の取り組みとして、「医療機関への説明や取組状況の確認、連携した啓発」「地域行政と連携した啓発」「薬局待合室で啓発動画を配信」「利用されない理由の聞き取り」といった取り組みを行っている薬局では、全体と比べ、マイナ保険証受付割合の平均が高く、特に効果的な取り組みであることが示唆された。

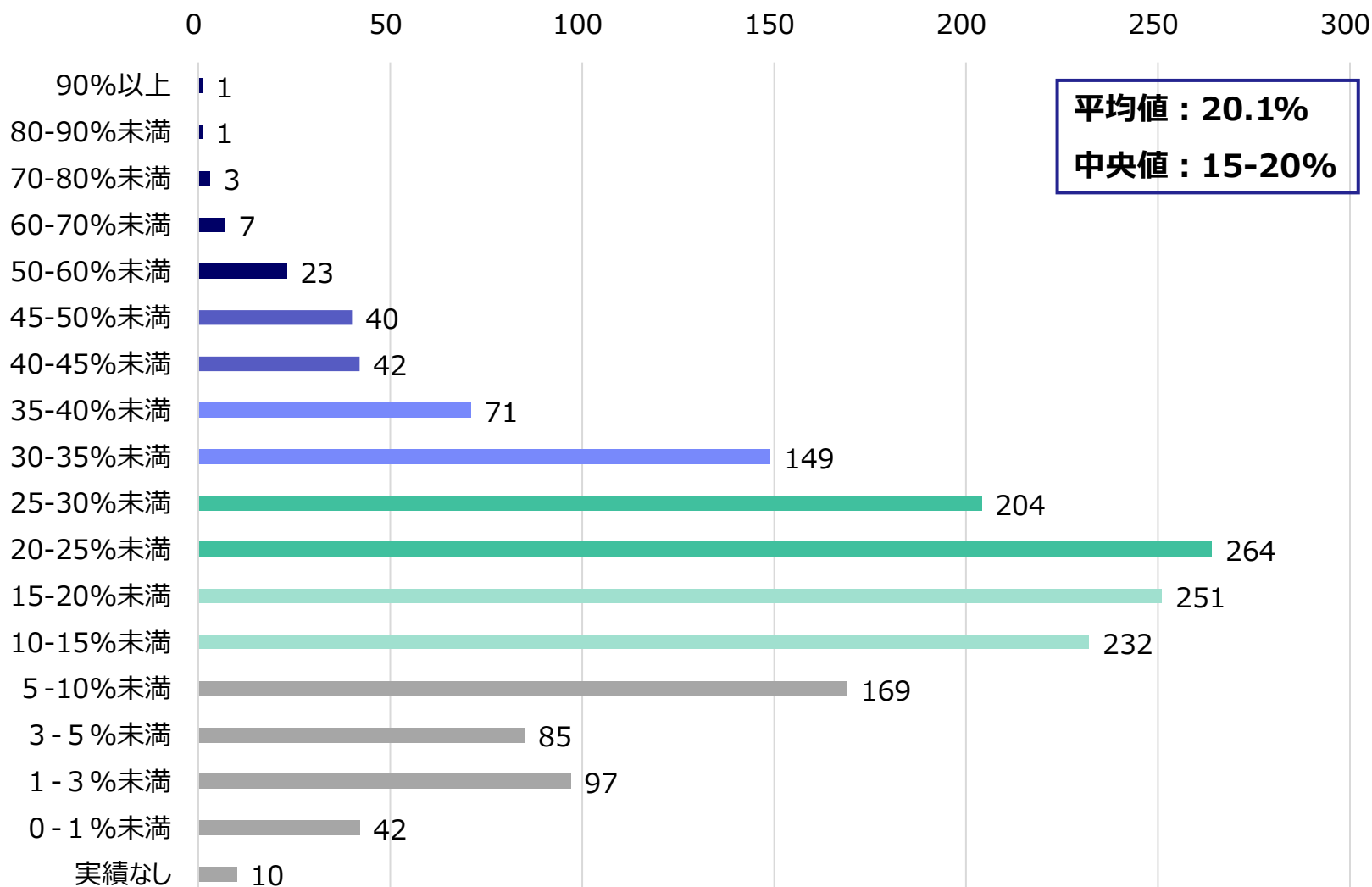
また、マイナ保険証受付30%以上の薬局では、30%未満の薬局と比べて、薬局業務上のメリットを感じる割合が高く、中でも「診療、薬剤、健診情報の確認」「重複・併用禁忌チェック」「薬物治療の質と安全性の向上」において、特にメリットを感じる割合が高い傾向であった。

患者、薬局、薬剤師がそれぞれの立場で、医療DXの意義を実感できるよう、今後も協会活動として、マイナ保険証利活用や電子処方箋に係る効果的な取り組みや好事例等の共有を通じて、医療DX推進に貢献していく。

マイナ保険証受付割合

回答薬局のマイナ保険証受付割合は、平均20.1%であった。

問. 月間処方せん受付回数うちマイナ保険証受付を実施したおおよその割合を教えてください。(N=1,691薬局)

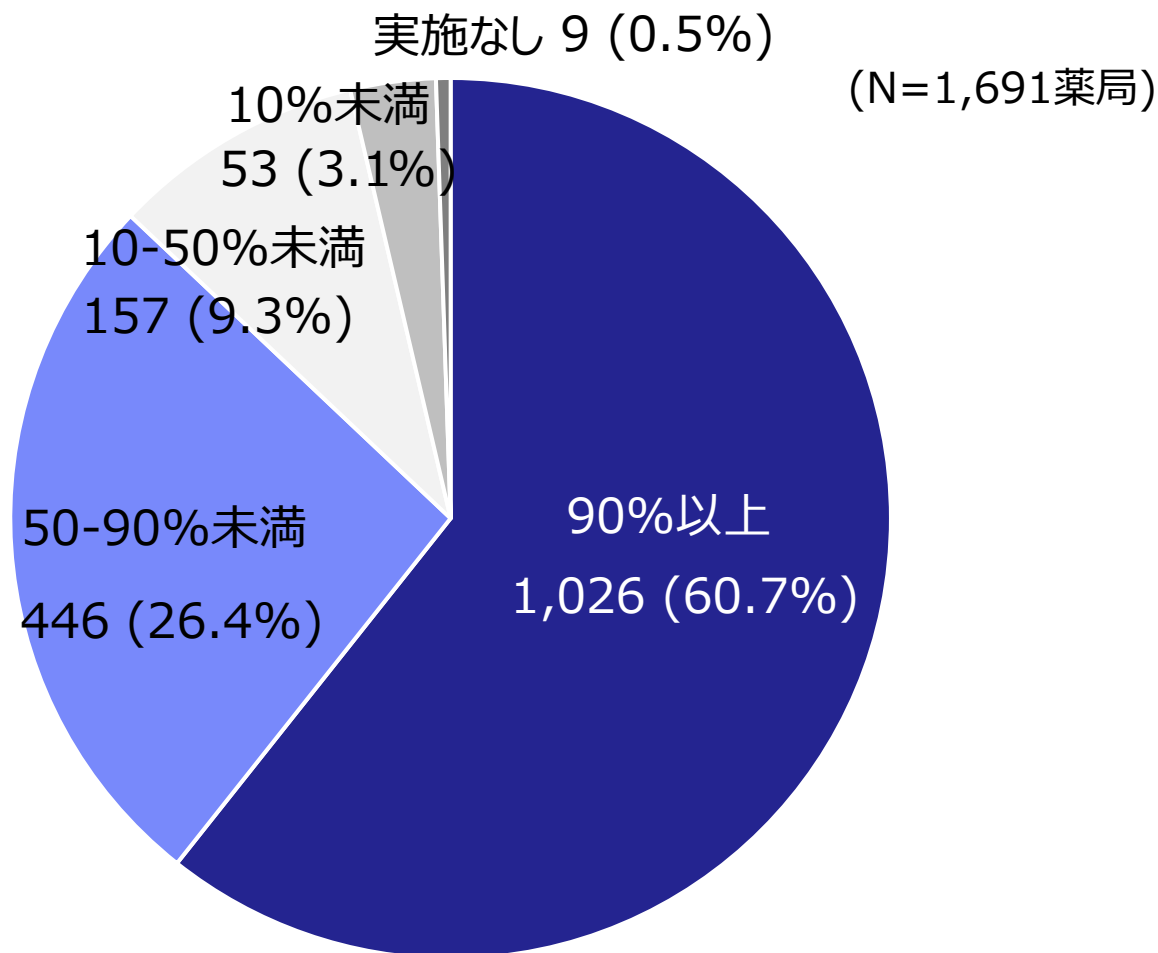


▶ 0-1%未満→0.5%、10-15%未満→12.5%などとして平均値を算出

マイナ保険証声かけ割合

回答薬局のうち、患者の90%以上に声かけしている薬局が60.7%であった。

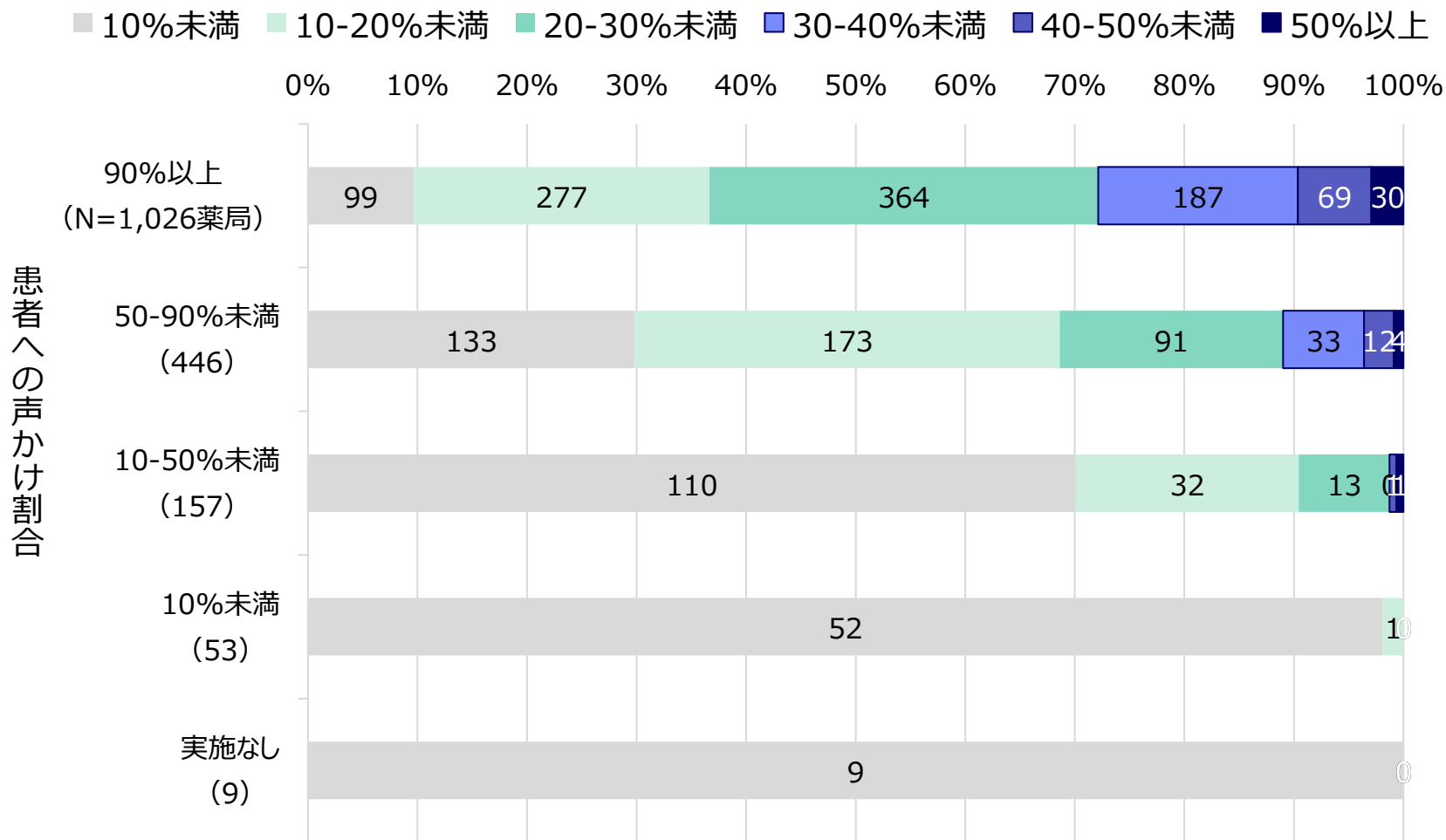
問. 月間受付のうちマイナンバーカードの持参確認や、受付での利用の声かけを実施したおおよその割合を教えてください。



マイナ保険証受付割合×声かけ割合

患者への声かけ割合が高いほど、マイナ保険証受付割合は高い傾向が見られ、患者の90%以上に声かけしている1,026薬局のうち、286薬局,27.9%がマイナ保険証受付率30%以上であった。

マイナ保険証受付割合

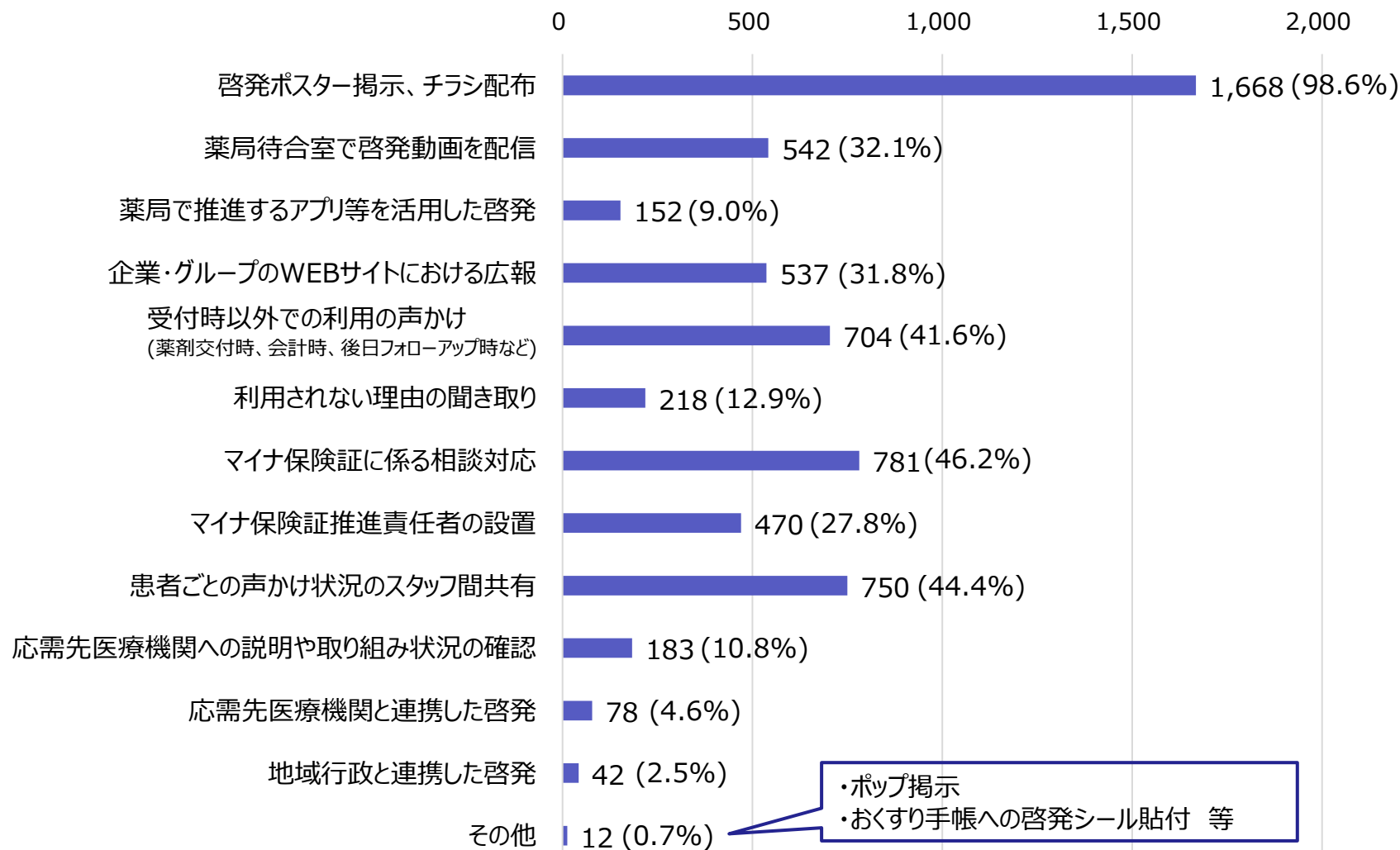


▶ 受付率30%以上である割合についてカイ二乗検定の結果、声かけ割合「90%以上」と「50-90%未満」、「50-90%未満」と「10-50%未満」の群間でそれぞれ有意差がみられた。(有意水準 $\alpha=0.05$)

受付での声かけ以外の取り組み

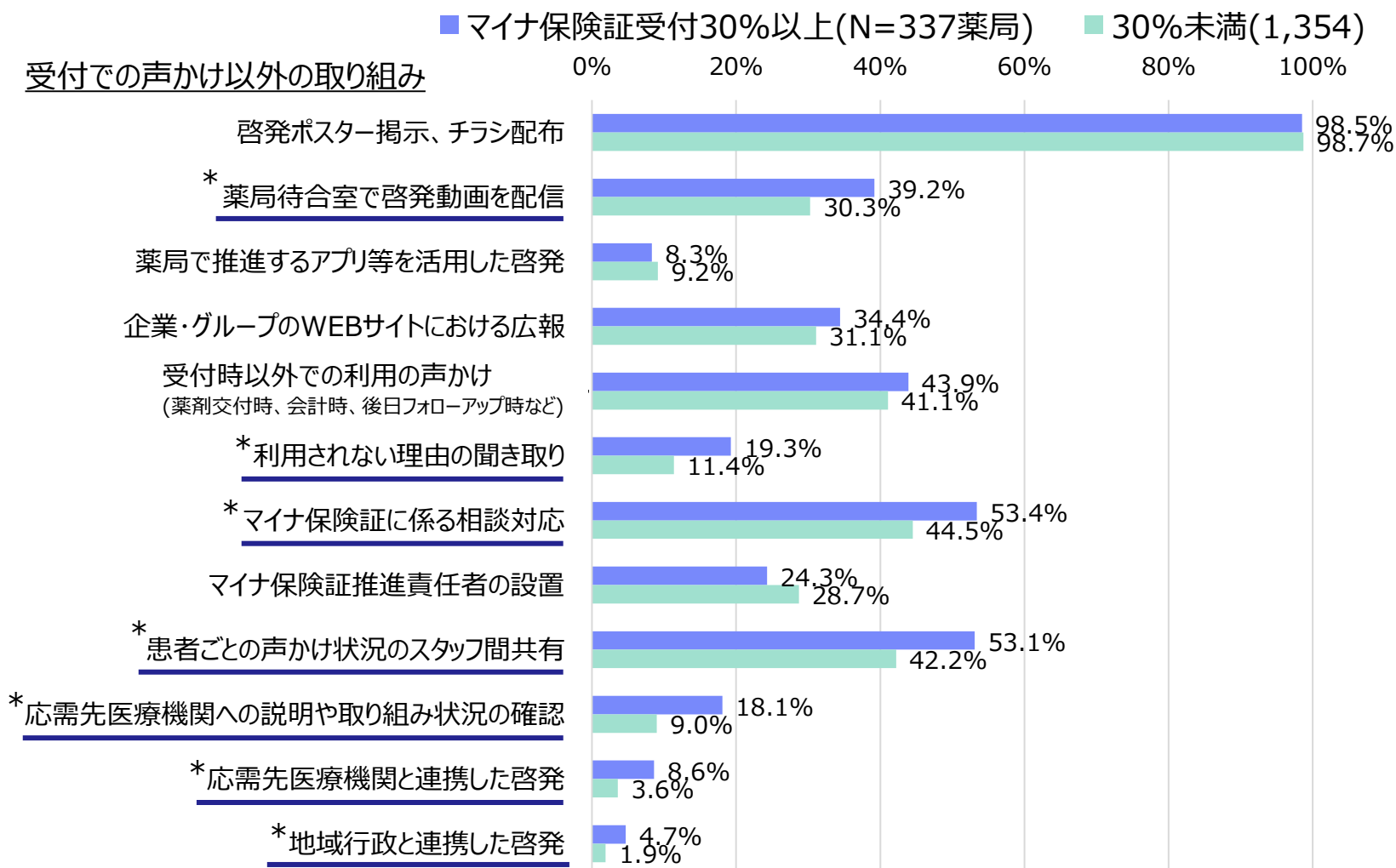
「啓発ポスター掲示、チラシ配布」の取り組みが最も多く、次いで「マイナ保険証に係る相談対応」「患者ごとの声かけ状況のスタッフ間共有」「受付時以外での利用の声かけ」の順で回答が多かった。

問. 受付での利用の声かけ以外の取り組み状況を教えてください。(複数選択可) (N=1,691薬局)



マイナ保険証受付割合×受付での声かけ以外の取り組み

マイナ保険証受付30%以上の薬局では、30%未満と比べて「啓発動画配信」「利用されない理由の聞き取り」「相談対応」「声かけ状況のスタッフ間共有」「医療機関への説明や連携した啓発」「地域行政と連携した啓発」といった取り組み割合が高い。カイ二乗検定において有意差が得られた。



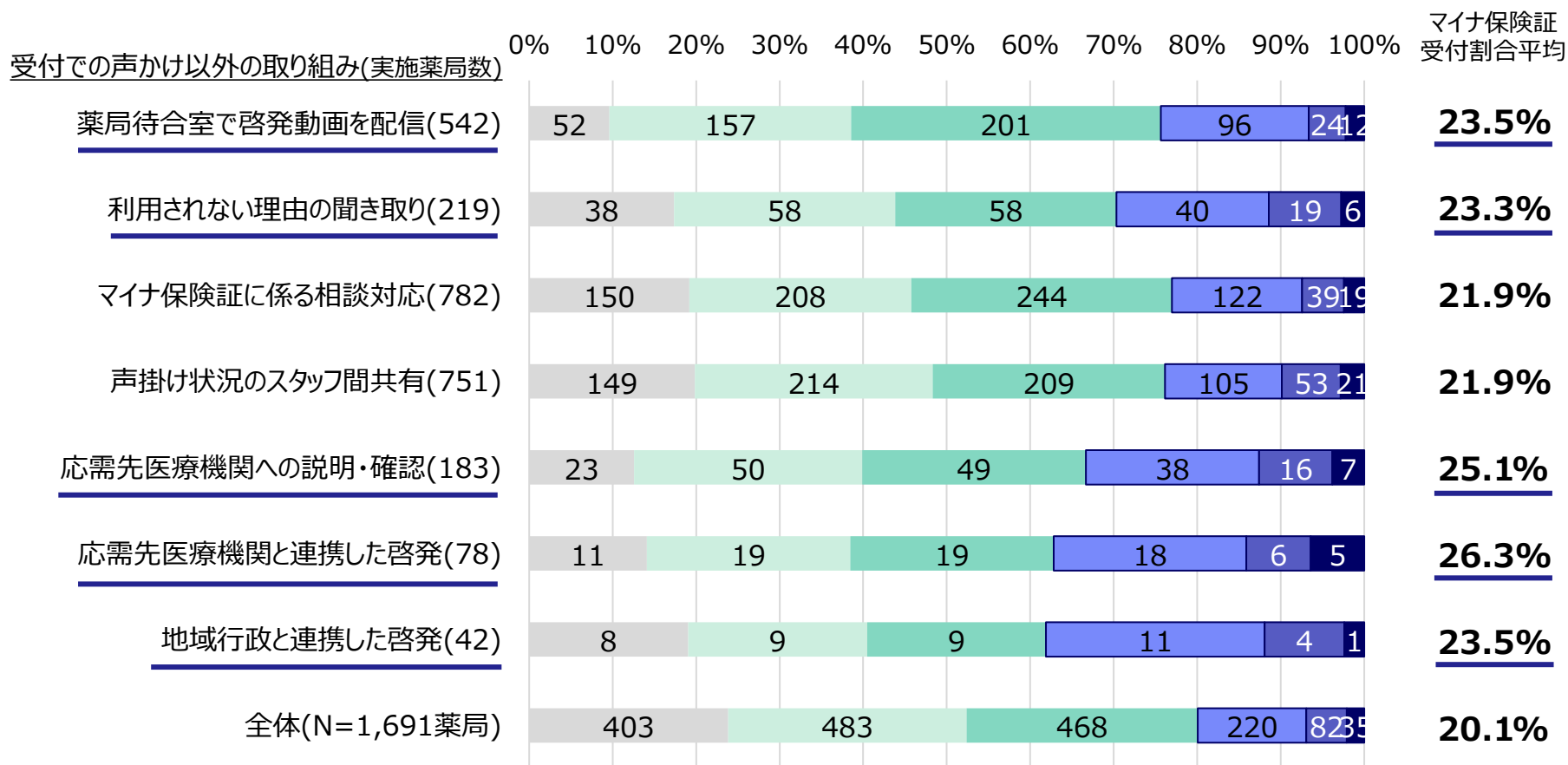
▶ * : カイ二乗検定の結果、受付率30%以上/未満で有意水準 $\alpha=0.05$ における有意差あり

特に効果的な取り組み

「医療機関への説明や取組状況の確認、連携した啓発」「地域行政と連携した啓発」「薬局待合室で啓発動画を配信」「利用されない理由の聞き取り」といった取り組みを行っている薬局では、全体と比べ、マイナ保険証受付割合の平均が高く、特に効果的な取り組みであることが示唆された。

マイナ保険証受付割合

■ 10%未満 ■ 10-20%未満 ■ 20-30%未満 ■ 30-40%未満 ■ 40-50%未満 ■ 50%以上



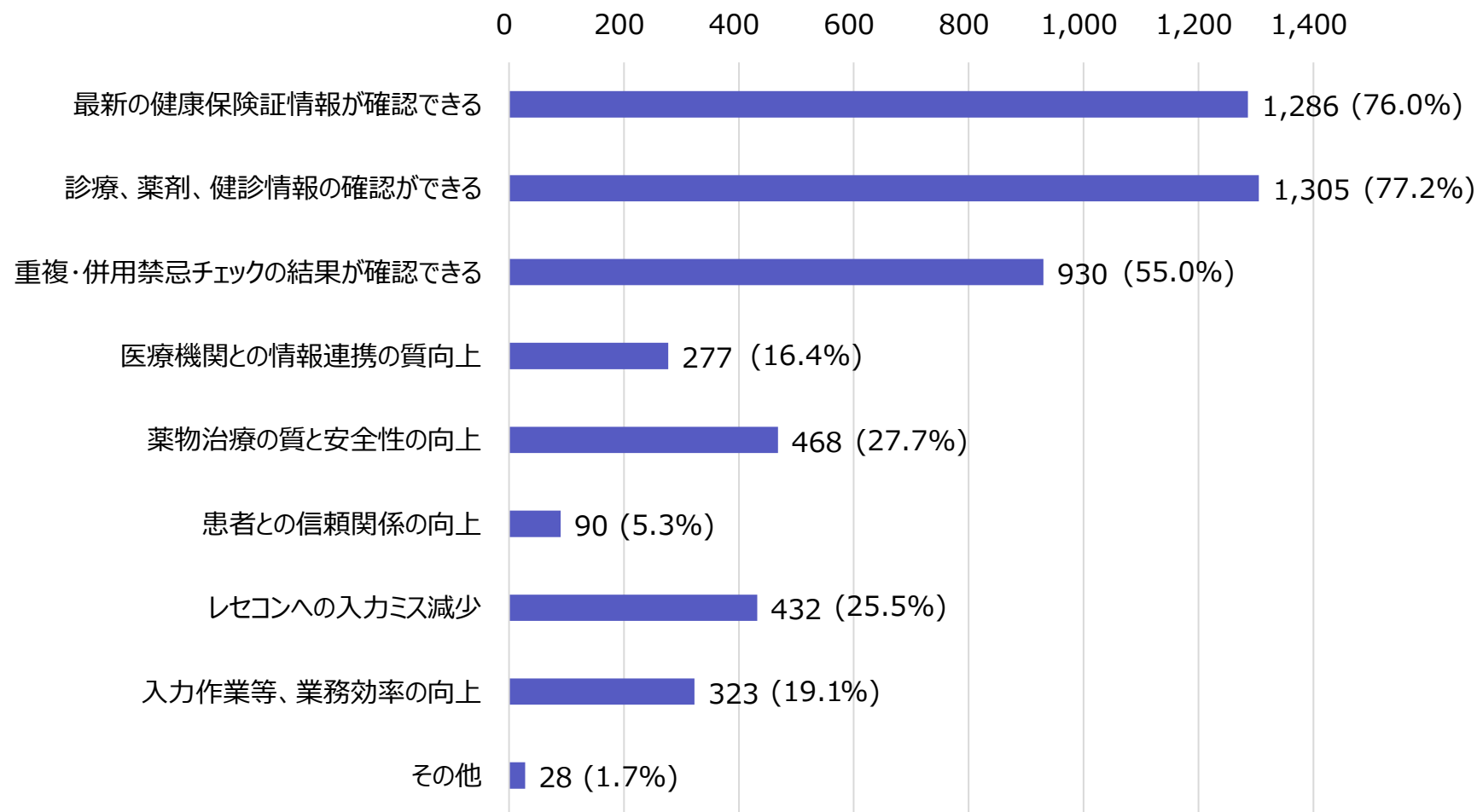
▶ 0-1%未満→0.5%、10-15%未満→12.5%などとして平均値を算出

薬局業務上のメリット

薬局業務におけるメリットとして「診療、薬剤、健診情報の確認ができる」「最新の健康保険証情報が確認できる」「重複・併用禁忌チェックの結果が確認できる」の回答が多くみられた。

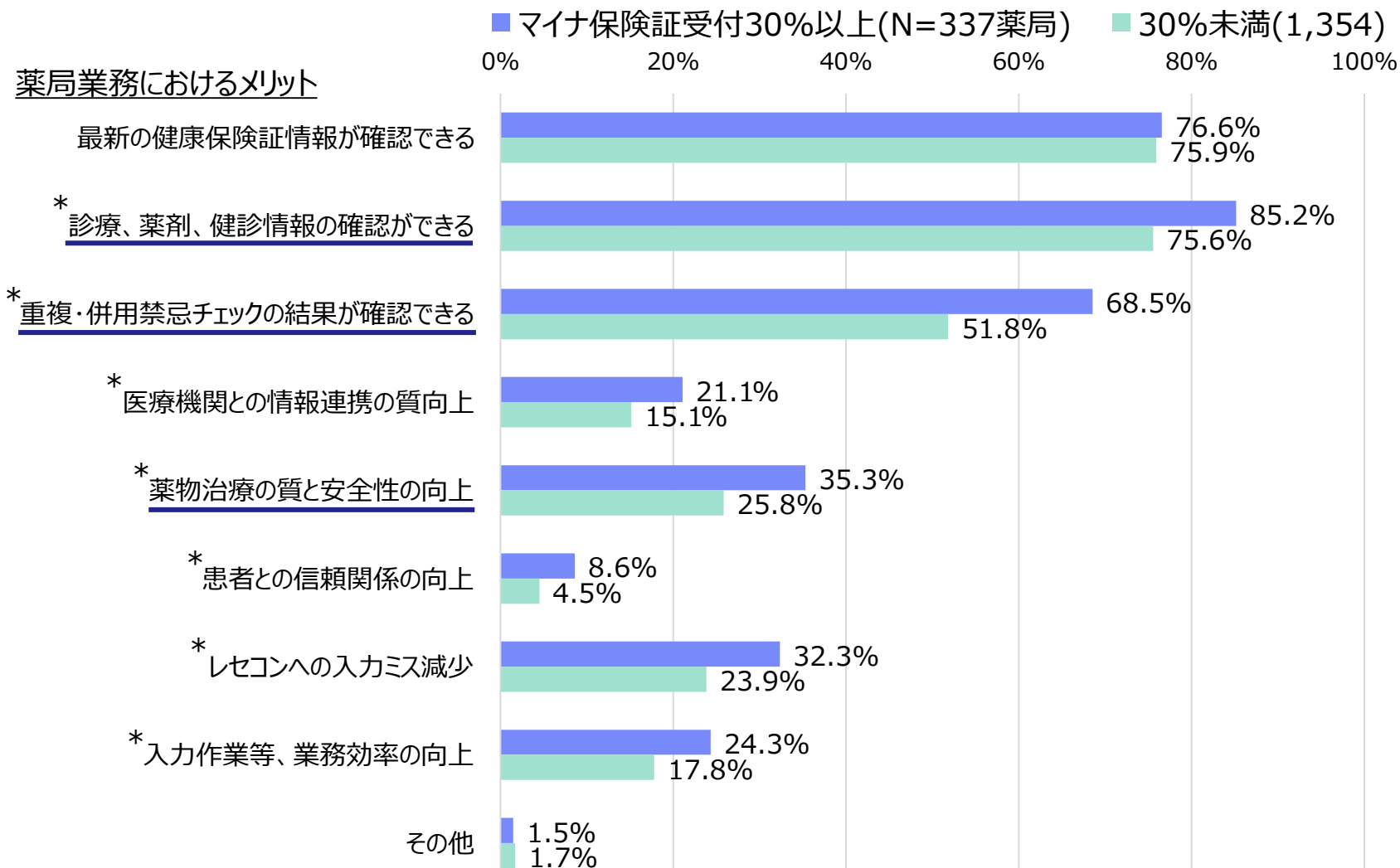
問. マイナ保険証受付や電子処方箋受付体制を有することで薬局業務においてメリットと感じたことを教えてください。
(複数選択可)

(N=1,691薬局)



マイナ保険証受付割合×薬局業務上のメリット

マイナ保険証受付30%以上の薬局では、30%未満と比べて、薬局業務上のメリットを感じる割合が高く、「診療、薬剤、健診情報の確認」「重複・併用禁忌チェック」「薬物治療の質と安全性の向上」において、特に高い傾向であった。



▶ * : カイ二乗検定の結果、受付率30%以上/未満で有意水準 $\alpha=0.05$ における有意差あり



Nippon Pharmacy Association

日本保険薬局協会